

プロジェクトにおける取組（案）

【江戸東京きらりプロジェクトの目的】

「江戸東京の技・伝統をつなぐ、広げる」

- 東京の産業分野における伝統の技による優れた産品（「宝物」）の発掘、磨き上げ、世界への発信等を行い、産業としての魅力の向上を通じて伝統の技を将来に継承。
- 磨き上げられた「宝物」と東京の生活文化等を世界に発信し、東京の魅力の向上を通じてインバウンドを増加。

【プロジェクトにおける取組（案）】

「宝物」の磨き上げ、発信等について、

- ① 事業者や都が行うべき取組の提言
- ② 事業者における気運醸成、事業者間連携の促進
- ③ 意欲ある老舗企業等による取組に対する後押し(モデル事業として実施)

① 事業者や都が行うべき取組の提言

➤ 委員会において、「宝物」の磨き上げ、発信等を促進するため、事業者や都が行うべき取組について提言を取りまとめ。

<例>

○ 「宝物」の磨き上げ、発信等のポイント、具体的な取組

【「宝物」の磨き上げ】

- ・ 伝統の技を活用しつつ、現在の国内外のニーズに対応した新商品を開発。
- ・ 様々な分野の事業者が連携し、新たな視点を導入して磨き上げを実施。

【「宝物」の発信】

- ・ プロジェクト全体と個々の「宝物」を世界に向けて発信。
- ・ 「宝物」は、コンセプト、東京の生活文化等と組み合わせて発信。

○ 現在のニーズに対応した新たな商品の方向性（反物の幅等）

○ 「宝物」の供給体制を強化するための取組（人材確保・育成、事業者間連携等）

② 事業者における気運醸成、事業者間連携の促進

➤ 委員会及び都において、老舗企業等をはじめ様々な分野（マーケティング、ブランディング、デザイン等）の事業者における「宝物」の磨き上げ、発信等の気運醸成を図り、これらの事業者間の連携を促進。

➤ 例えば、老舗企業等をはじめ様々な分野の事業者によるビジネス交流会を、都が委員会の助言を得ながら開催。

③ 意欲ある老舗企業等による取組を後押し（モデル事業として実施）

- 都は、意欲ある老舗企業等による「宝物」の磨き上げ、発信等の取組を公募し、モデル事業を選定（他の老舗企業等の取組を牽引するようなもの）。
- このモデル事業は、すでに磨き上げ等を進めている取組、これから磨き上げ等を行おうとしている取組の双方を対象とする。
- このモデル事業の選定は、委員会が定める「モデル選定の視点」に照らし、有識者（※別途モデル選定委員会（仮称）を設置予定）の意見を聴いた上で行う。

【モデル選定の視点（案）】

- ① 当該「宝物」のコンセプトや中核となる伝統の技が明確にされているか
 - ② 当該「宝物」の重要な部分で伝統の技が用いられ、品質が確保されるようになっているか
 - ③ マーケティング戦略が立てられており、当該「宝物」について国内外のニーズが見込まれるか
 - ④ 「宝物」の発信に係る戦略が妥当か
 - ⑤ 当該事業者の取組意欲が高いか
 - ⑥ 当該取組の実施体制や実施計画が妥当か
 - ⑦ 当該取組がモデル・牽引役としてふさわしいか
- プロジェクトの成果物を早期に国内外でPRする観点から、まずはものづくり分野の商品を対象としてモデル事業を選定。
 - なお、選定したモデル事業への後押しとして、委員会が磨き上げ、発信等に関する助言を実施。また、都が委員会の助言を得ながら発信の場を提供。